

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	環境保全一般事業												
事業担当	所属	市民総務部 生活環境課				所属長	井上 和成						
会計情報	事業コード	520121	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境保全費	会計	01 一般会計	決算付属資料	158	頁
施策体系	施策コード	040502	施策名	公害対策を充実させる									
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画							
根拠法令等	公害紛争処理法、環境基本法、福知山市附属機関設置条例、福知山市環境審議会規則、騒音規制法、悪臭防止法												
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報			
事業目的 (あるべき姿)	市民、事業者の環境意識を高めて、環境保全の進んだまちとする。 環境公害発生時には、その対策を行い、市民の公害に対する不安を解消する。		
対象者	全市民	対象者数	77,122
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先・実施主体等	(一社)京都微生物研究所・ダイワエンジニアリング(株)播磨分析センター・(株)環境テクノス		
事業概要 (箇条書き)	環境パーク施設見学、環境問題出張講座、その他啓発活動を行い、市民・事業者の環境保全意識を高める。 公害苦情発生時に現地調査、発生源への指導等の苦情処理を行う。 事業所の公害発生施設設置届出に関して、法令に基づき指導、受理する。 市内で大気汚染、水質汚濁、悪臭公害が懸念される地域において環境測定を行い、状況を監視する。 騒音規制法第18条に基づき、市内幹線道路の代表的な地点の騒音測定を行い、道路を走行する自動車の運行に伴い発生する騒音に対して道路に面する地域の騒音暴露状況を把握する。		
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容
	報償費	50	委員謝礼
	旅費	16	研修・普通旅費
	需用費	36	消耗品費
	役務費	59	測定機器検定手数料
委託料	1,150	環境測定委託	

III 予算執行状況					
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	296	1,623	1,707	3,213
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	296	1,623	1,707	3,213	
予算財源内訳	① 一般財源	296	1,623	1,707	3,213
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	656	0	0
	② 配当予算	296	2,279	0	0
	③ 執行額	199	1,311	0	0
	④ 執行率	67.4%	57.5%		
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.91/0	1.47 / 0.00	1.47 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	7,280	11,760	11,760	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,479	13,071	11,760		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	環境保全一般事業(きょうと地域連携交付金)	種類	衛生費府補助金	実績金額	534	決算付属資料	26	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	事業所公害苦情発生件数	件	15 / 22	7 / 22	16 / 22	/ 22	22以下
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	環境測定箇所数	箇所	14 / 14	15 / 15	14 / 14	/ 15	全必要箇所
	単位あたりコスト		18.57	13.27	93.64		
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・公害苦情処理は、法令に基づき行政で実施する必要がある。公害に苦しむ市民の要求に応えるものであり、優先度は高い。市民への啓発も必要である。 ・環境測定は、環境公害について以前より懸案となっている地域において、実施するものであり、市民ニーズに応えるものである。騒音については、国の法定受託事務である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全の啓発資材や環境対策関連会議の旅費など最低限必要な経費のみである。啓発活動は、費用のかからない施設の利用などコスト削減に取り組んでいる。 ・環境測定には国家資格や高価な測定機器が必要であり、業者委託が最も効率が良い。 ・委託価格も、市販の積算図書の価格以下であり、妥当な価格である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は、過去の実績から設定した目標である。 ・府下の公害苦情担当者会議などで他市の公害事象などの情報交換を行っている。 ・環境測定は、測定時期、場所などは、地元希望も聞きながら行っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	第4次総合計画策定時の実績から事業所公害苦情発生件数の指標を設定しているが、事業所に対する市への苦情件数は目標を達成できている。ただし、法に抵触していない案件が多く、完全に解決できず継続となる案件が増える傾向にある。		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・公害から生活環境を守ることは、行政としての責務であり、継続して取り組まなければならないが、市民・事業者側の環境保全に対する意識も重要であり、市民一人ひとりの実践も重要であるため、引き続き環境保全への取り組みを強めていく必要がある。ただ、取り組みの結果については、どれだけ成果があったかについての判断が難しい部分もあるが、公害苦情については、法令違反を明確に確認できない事例が多くあり、強い行政指導ができず、事業者努力を促す継続案件となり、根本的な解決に及んでいないケースが増えていることが課題である。 ・測定結果が毎年基準値内であることを確認し、最終的には地元住民の不安を完全に無くしていきたい。 ・今後も地元住民の不安解消のために、継続して、企業の環境対策の強化、低公害型設備の導入などを指導していくこととする。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	福知山鉱山坑廃水処理場管理運営事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	540601	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
施策体系	施策コード	040502		施策名	公害対策を充実させる								
計画期間	開始年度	H11		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等	鉱山保安法、鉱山保安法施行規則、水質汚濁防止法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	旧福知山鉱山の坑道より排出される強酸性(pH3)で金属成分を含む廃水を、鉱山保安法、鉱山保安法施行規則及び水質汚濁防止法に基づき適正な処理を行い、河川に放流することで市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全を図る。								
対象者	在田川 流域の市民	対象者数	215		単位あたりコスト	118.7			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	維持管理業務委託:トミタ環境株								

事業概要 (箇条書き)	旧福知山鉱山の坑道より排出される強酸性(pH3)で金属成分を含む廃水を導水管により処理場まで流し、消石灰により中和するとともに、重金属を高分子凝集剤により沈殿させ、ろ過した処理水を河川に放流する。沈殿した污泥は脱水し産業廃棄物として埋立処分する。年間365日稼働。								
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	11,921	維持管理委託、水質検査、機械警備等						
	需用費	8,265	光熱水費、薬剤費、修繕費等						
	役務費	96	浄化槽点検、建物共済保険						
	旅費	15	大阪出張費						
	使用料	14	土地賃貸借料						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	20,520	20,044	19,905	19,418
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①~③)	20,520	20,044	19,905	19,418	
予算財源内訳	① 一般財源	2,589	2,529	433	2,427
	② 国支出金	15,366	15,009	16,686	14,552
	③ 府支出金	2,561	2,501	2,781	2,425
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	4	5	5	14
決算情報	① 流充用額	1,478	467	0	0
	② 配当予算	21,998	20,511	0	0
	③ 執行額	21,998	20,311	0	0
	④ 執行率	100.0%	99.0%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.66/0	0.65 /	0.65 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	5,280	5,200	5,200	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	27,278	25,511	5,200		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	休廃止鉱山公害防止事業	種類	商工費国庫補助金	実績金額	14,832	決算付属資料	20	頁
	特財名称	休廃止鉱山公害防止事業	種類	商工費府補助金	実績金額	2,473	決算付属資料	28	頁
	特財名称	電柱等占用料	種類	商工使用料	実績金額	4	決算付属資料	10	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	処理日数のうち水質が目標基準内で処理できた日数	日	日	365/365	365/365	365 / 365	/ 365
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	処理日数	日	365/365	365/365	365 / 365	/ 365	365
	単位あたりコスト		57.91	60.20	55.65		
	水質検査	回	12/12	12/12	12 / 12	/ 12	12
単位あたりコスト		1761.50	1833.20	1692.62			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	現在でも処理前の原水は基準値を逸脱した水質であり廃水処理の必要がある。また、鉱山事業主が不在となった鉱山のため行政が行う必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	受益者である在田川流域の住民は少数であるが、広域的な見方をすると在田川が合流する由良川下流域にも影響する事業である。維持管理費や薬剤費、運搬業務等は毎回複数業者による入札(見積徴収)を実施しているため、経費削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	維持管理運転及び施設修繕等を計画的に実施しており、365日基準内の水質で廃水処理が行えている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	施設の維持管理や施設等修繕を計画的に行うほか、緊急修繕等にも対応し、目標基準内での排水処理を実行している。豪雨や台風による影響が少ない年であったが、設備の維持管理上で必要な緊急を要する修繕が発生した。		
これまでの課題及び今後の方向性	本施設は稼働から18年が経過しており、毎年、老朽化や磨耗劣化等により部品等の交換や修繕を実施している。本施設を運転し続けることが、市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全を図るためには必要と考えるが、処理費用は年間20,000千円を超えている。コスト削減や効率化のため本施設に反映できる最先端の処理方法がないか調査研究機関へ接触を図っており、令和2年度以降に実施予定。		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中山業評価			

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---